

【山いき隊とは】都市部の若者が「浜松山里いきいき応援隊（通称、山いき隊）」として市内の山里に移住し、地域の人たちと協力しながら、魅力向上や活性化につなげる活動をしています。

五感を満たす 春野の自然

こんにちは。浜松山里いきいき応援隊の松下純子です。今回は私の担当地域、春野の魅力を紹介いたします。

魅力の二つ目は、何と云っても豊かな自然。目に飛び込んでくる緑、窓を開けて車を運転すれば風に乗って漂う季節の花の香り、近くから聞こえる野鳥の鳴き声、採れたての旬の食べ物、太陽の光をたくさん浴びた畑の土の温かさ。日々、自然から五感を刺激されながら生活しています。

二つ目は、その自然を生かして面白い活動をしている皆さん。耕作放棄地の再生に取り組み「春野耕作隊」、春野町の情報を発信するフリーペーパーを制作している



山いき隊(春野地域) 松下純子さん

「みるいら」、山に自生する木から精油を作っている人など、魅力的な人たちがたくさんいます。皆さんに共通するのが、生まれ育った春野町をもっと良くしたいという前向きな思いです。

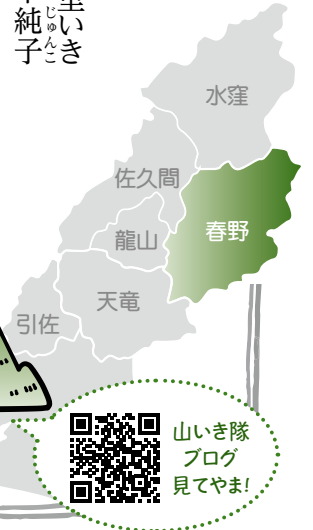
ここでは紹介しきれない魅力をインスタグラムで発信しているのので、ぜひチェックしてみてください！



オリーブの実の収穫作業



山いき隊 ブログ 見てやま!



はままつ 魅力発見位

浜松市の魅力を表紙の写真と共に紹介します。

いざ全国へ! 浜名湖うなぎ

浜松・浜名湖の食といえば、多くの方が最初に思い浮かべるのはウナギではないでしょうか。浜名湖のウナギの生産量は年間およそ1,500トンで、そのうちの半数を、浜名湖養魚漁業協同組合が取り扱っています。養鰻池から水揚げされたウナギは、組合員の手作業によるサイズなどの選別を受けた後、関東圏を中心に全国へ出荷されます。選別されたウナギたちは、軽い傾斜のある板の上をニョロニョロと動き、自ら出荷用の籠の中へ飛び込んでいきます。

取材時、その姿に可愛らしさと勇ましさを感じました。ニホンウナギは絶滅危惧種に指定されているため、地域ごとに生産できる上限が決まっています。昔と比べると生産量は減りましたが、今でも浜名湖がウナギの名産地として全国に広く浸透し、浜名湖産ウナギのブランドイメージは確立されています。暑い夏には栄養たっぷりの浜名湖うなぎで、英気を養いたいですね。



どよう うし 今年の夏の土用の丑の日は 7月28日です!

市の人口と世帯数	男	女	総数	世帯数
	397,287人 (-46)	400,281人 (-145)	797,568人 (-191)	347,036 (+150)
中区	117,147人 (-59)	119,182人 (+21)	236,329人 (-38)	113,120 (+40)
東区	65,255人 (+15)	64,983人 (-8)	130,238人 (+7)	55,986 (+65)
西区	54,124人 (-25)	54,658人 (-13)	108,782人 (-38)	44,653 (+14)
南区	51,702人 (+46)	50,617人 (-42)	102,319人 (+4)	44,649 (+52)
北区	46,040人 (-5)	46,829人 (-41)	92,869人 (-46)	37,967 (+7)
浜北区	49,842人 (-19)	50,032人 (-35)	99,874人 (-54)	38,449 (-20)
天竜区	13,177人 (+1)	13,980人 (-27)	27,157人 (-26)	12,212 (-8)

令和3年6月1日現在 ()内は前月比

健康のためにとウォーキングを始めて1年が経過しました。最初は行き当たりばったりだったコースも徐々に定着化し、今では歩く時間やその日の体調によってコースを変えています。季節が一巡したので、新たなコースを探索中です。(行)

昨年の秋ごろから水耕栽培で育て始めたアボカドの成長がひざくらいの高さで止まってしまいました。よくよく調べてみると、ある程度育ってきたら土に植え替えたほうがよいとのこと。慌てて鉢替え敢行。もうすぐ夏も本番ですが、暑さに負けず元気な育ってほしいです。(輔)

編集 後記